

一般会計予算決算常任委員会  
産業建設分科会記録

令和 7 年 8 月 2 7 日

【開催日】 令和7年8月27日（水）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後3時8分～午後5時20分

【出席委員】

分科会長	藤岡修美	副分科会長	恒松恵子
委員	中島好人	委員	中村博行
委員	福田勝政	委員	宮本政志
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】

経済部長	高橋雅彦	経済部次長兼商工労働課長	工藤 歩
商工労働課主幹	中村扶実子	商工労働課課長補佐	中村 宏
商工労働課商工労働係長	蕎麦谷 渉	商工労働課企業立地推進室主事	河口 竣亮
農林水産課長	平 健太郎	農林水産課課長補佐	本多 享平
農林水産課農林係長	伊勢 克敏	農林水産課主査兼水産係長	山口 大造
農林水産課耕地係長	河内 和雅	農林水産課農林係主任	中川 大地
農業委員会事務局長	伊與木 登		

【事務局出席者】

局長	石田 隆	議事係書記	末岡 直樹
----	------	-------	-------

【審査内容】

- 1 議案第56号 令和6年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について
- 2 議案第66号 令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）について

---

午後3時8分 開会

---

藤岡修美分科会長 それでは、ただいまより一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会を開会いたします。本日の審査日程につきましては、お手元に示してあるとおりに進めてまいります。まず、議案第56号令和6年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について、審査番号6の農業委員会所管部分、決算書266ページから269ページまでです。266ページ、267ページ。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）268ページ、269ページ。

矢田松夫委員 去年の決算書を見ると、能率給を含めた報酬が一覧表として出っていたから審査しやすかったです。今回、報酬の内訳がなかったのはいいとして、委員の報酬が予算に対して、大分減額になっているけど、何か理由があるんですか。

伊與木農業委員会事務局長 当初の予算に比べて減額したのは、3月に補正をさせていただきました最適化交付金の件でございます。こちら当初800万円を計上しておりました。これが能率給で、498万2,000円の決算となっております。能率給の部分だけで言いますと498万2,000円でございます。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。それでは職員入替えのため、暫時休憩いたします。

---

午後3時10分 休憩

---

---

午後3時18分 再開

---

藤岡修美分科会長 それでは、産業建設分科会を再開いたします。議案第66号令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）について、審査番号1番、経済部、建設部の所管の部分について審査を行います。執行

部の説明を求めます。

平農林水産課長 それでは、一般会計補正予算（第４回）農林水産課分について歳出から御説明いたします。補正予算書１４、１５ページをお開きください。６款農林水産業費、１項農業費、５目土地改良事業費、１８節負担金、補助及び交付金、６３１万４，０００円の増額についてでございます。増額の理由につきましては、現在県が実施しております沖開作排水機場改修工事において整備したポンプを起動したところ、その他の箇所、具体的にはフラップ弁に不具合が見つかり、その部分を追加で整備する必要が生じたことにより、市の負担金が増加することによるものでございます。本事業における負担区分につきましては、国５０％、県２５％、市２５％でございます。続きまして、補正予算書１８、１９ページをお開きください。１１款災害復旧費、１項鉦害復旧費、１目鉦害復旧総務費、１４節工事請負費２００万円の増額についてでございます。増額の理由につきましては、今年度当初予算において３９０万円の工事請負費を計上しておりましたが、７月末時点で４件の工事を実施し、３６１万９，７００円を支出する予定であり、予算残額が２８万３００円となるため、今後、特定鉦害復旧事業を実施する必要がある場合に対応するため、予算を増額するものでございます。なお、本事業に要した工事費については、全額、山口県砕石協会から市に支払われます。続きまして、歳入について御説明いたします。補正予算書１０、１１ページをお開きください。２１款諸収入、５項雑入、２目雑入、６節農林水産業費雑入２００万円の増額は今後、特定鉦害復旧事業を実施する必要がある場合に対応するため、予算を増額するものでございます。以上御審査のほどよろしく願いいたします。

工藤経済部次長兼商工労働課長 それでは、令和７年度山陽小野田市一般会計補正予算（第４回）商工労働課分について御説明いたします。このたびの補正予算は、美祢線のＢＲＴによる復旧に向けた具体的な協議を行うため、山口県と沿線３市が共同で設置する法定協議会の運営費に対する

負担金について、新たに予算計上するものです。補正予算書 16、17 ページを御覧ください。7 款商工費、1 項商工費、1 目商工総務費、1 8 節負担金、補助及び交付金、法定協議会の運営費に対し、本市から美祢線沿線地域公共交通協議会（仮称）負担金 18 万 2,000 円を計上しています。ここで、負担金の名称として美祢線沿線地域公共交通協議会といった名称を使用していますが、現時点で、法定協議会の名称がこの名前で確定しているわけではございません。シンプルに法定協議会負担金とすることもできましたが、予算上、負担金の交付先や性質が読み取りやすい名称を使うほうがよいと考え、仮称を基にした負担金名としていますことを申し添えます。詳細につきましては、別添資料、美祢線沿線地域公共交通協議会（仮称）負担金についてを御覧ください。J R 美祢線は、令和 5 年 6 月の被災による運休から 2 年が経過し、現在も代行バスによる運行が継続しています。こうした中、8 月 7 日には県と沿線 3 市が協議を行い、鉄道ネットワークを維持することができ、定時性、速達性、運賃など、鉄道と同等程度またはそれ以上の利便性向上を目指すことができる B R T として復旧する方針を決定し、新たに法定協議会を設置して協議を進めていく方向性を打ち出しました。この法定協議会は、B R T による復旧に必要な地域公共交通計画等を策定するもので、協議会の構成員は資料に記載のとおり、国や地方公共団体、交通事業者等、法律で定められたメンバーで構成されることとなりますが、具体的な人選については調整中となっています。なお、法定協議会については、秋頃の設置を見込んでいるところです。今年度の協議会の運営費は 145 万 6,000 円を見込んでおり、その内訳は委員謝金や旅費、事務費、会場使用料等となっています。運営費のうち、2 分の 1 の 72 万 8,000 円を山口県が負担し、残りの 72 万 8,000 円を沿線 3 市と J R 西日本の 4 者で均等割とし、本市の負担金としては、18 万 2,000 円を補正予算として計上するものです。続いて、歳入について御説明いたします。この歳出に係る特定財源といたしまして、補正予算書 10、11 ページ、19 款繰入金、1 項基金繰入金、3 目まちづくり魅力基金繰入金、1 節まちづくり魅力基金繰入金に 18 万 2,000 円を計上し、

まちづくり魅力基金から補正予算額全額を充当することとしています。  
説明は以上です。御審査のほどよろしくお願いいたします。

藤岡修美分科会長 執行部の説明が終わりましたので、委員の質疑を求めたい  
と思います。補正予算書 14 ページ、15 ページ。6 款 1 項 5 目の土地  
改良事業費、先ほど県事業の負担金の補正の説明がありました。よろし  
いですか。

矢田松夫委員 沖開作のポンプ小屋は、結局、日頃から管理をしてなかったの  
か、それともどういう理由で発見されたのか。

河内農林水産課耕地係長 沖開作排水機場ですけども、通常の管理は、地元の  
2 名の方がされています。今回その改修するポンプが止まってしまった  
原因は、先ほど説明しましたフラップ弁が落ちてしまったことによって、  
常時用のポンプが過電流を起こして、プロペラが逆流回転しまして、そ  
れを正常に戻すことに過電流が起こっております。そのフラップ弁が落  
ちた原因ですけども、通常の維持管理等はされており、改修計画を立て  
たときも点検をしてフラップ弁が通常どおり動いているかどうかも確認  
したんですけども、そのときは通常に動いておりました。その数年後に  
改修した結果、こういうことになっておりますので、経年劣化というこ  
とで、管理はできていたと思っております。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）7 款商工費、  
1 項商工費、先ほどの美祢線、商工総務費の 16 ページ、17 ページ。

中島好人委員 美祢線の関係です。このたび J R 西日本と自治体の 3 者、合わ  
せて 4 者で一応、全部均等割という話ですけども、今後も事業について  
は、そういう均等割という方向に基本的になるんでしょうか。どうです  
か。

工藤経済部次長兼商工労働課長 このたびの負担の割合については、あくまでも法定協議会を立ち上げて運営していくに当たっての費用に関する割合のみでございます。今後に関しましては、この法定協議会の中でしっかりと議論していくこととなります。

宮本政志委員 さっきの説明で、構成員が法律で定められたと言われましたがその法律は何の法律ですか。

工藤経済部次長兼商工労働課長 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律で決められております。

宮本政志委員 それで、構成員で地域住民または利用者の代表とあるけど、地域住民の定義は何なのかな。

工藤経済部次長兼商工労働課長 まず、法律における書きぶりから説明させていただきますと、地域住民に該当するところと言いますと、活性化再生法第6条第2項で、地域公共交通の利用者といったような書き方がされております。その辺りで沿線に住まれている実際利用されている方といったような意味合いになろうかと思います。

宮本政志委員 これは、仮称でしょうけど、この協議会に本市も行くわけですから注意していただきたい。そうすると利用者の代表というのは、今まで美祢線に一度でも乗った沿線に住んでらっしゃる方が対象ということですか。

工藤経済部次長兼商工労働課長 その捉え方というのは、いろいろ広くできようかと思っております、例えば、自治会であったり、広く本市で言いますと今、地域運営組織等であったり、そういった何らか具体的に決まっておるものはございませんので、他市とも、こういった方々を対象にということとはしっかり協議する中で決めていければなと思っております。

す。

宮本政志委員 懸念があるから今、聞いています。この地域住民または利用者の代表以外は、その組織団体の立場を前提としていろいろな意見を言っているんでしょうけど、これは例えば、利用者の代表は、利用者複数の中の代表で行くわけだから、利用者の総意をどうやって集めて、言うのかということをしっかりしておかないと代表で行った人が個人的な主観をだらだらと協議会で言ってもらって、悪影響を及ぼすような方なら構成に入れないほうがいいと思う。だから、抽選で個人を選びますというのがいいと思う。だからその辺りは、担当課として、ほかの市がどうこうじゃなくて、本市としてはしっかりと代表として意見が言える人を人選していこうということですか。

工藤経済部次長兼商工労働課長 委員がおっしゃられたとおり、例えば、大きな利用者としては、学生がいっぱいいます。であるならば例えば学校の関係も考えられると思いますし、そういった中で、偏った意見にならず、広く意見が取れるような形で委員を決めていければと考えているところです。

中島好人委員 今の宮本委員の関係で、いろいろ各種から選ばれるわけですけども、大体人数としては、何人で構成しようとしているわけですか。

工藤経済部次長兼商工労働課長 人数についても、現状何人程度というのはまだ決まっておりません。今後の件も含めまして、協議会の構成団体としっかりその辺りも詰めてまいります。

矢田松夫委員 人数が分からないでその予算をどう出したか分からんよね。大体の人数とかで報酬を払うわけやから。あらかたの人数というのは分からんじゃ計算できないよね。最初にそれを答えてください。



工藤経済部次長兼商工労働課長 このたびの予算の根拠で最初、資料の３番のほうにも予算額の１４５万円というのが出ております。具体的には１４５万６，０００円です。こちらにつきましては、現在、この協議会が３市にまたがるものであること、それから法律に基づくものであることから、県でリーダーシップを取っていただいて、協議を進めているところでございます。県で一旦このぐらいの金額で運営をしていきたいというところで、金額の提示もございましたので、細かい数字は県で算出はされておるものかと存じますが、我々といたしましては今、人数についてはっきり申し上げられる段階にはございません。

矢田松夫委員 では、これでいうと３番の報償費、委員の謝金５７万６，０００円は、どういうふうに計算したか分からないけど、アバウトにやっとな。何か目安がないと、例えば、３市でやると、山陽小野田市の文化会館であったり、長門市であったり、美祢市のとこでやったりするけど、それぞれ旅費も全部違ってくる。何でこんな数字になったのか、元があるでしょう。

中村商工労働課課長補佐 今の例えば報償費につきましては、これは県で積算されておまして、県の委員報酬の基準単価が１人当たり９，６００円となっておりますので、９，６００円掛ける、おおよそ２０人、掛ける３回程度、今年度は開催するという仮の計算をされまして、結果、５７万６，０００円という計算方法になっております。

矢田松夫委員 よく分かりました。メンバー構成員が大体２０人ですね。

中村商工労働課課長補佐 ２０人で積算されておりますけども、人選については、今後、決められるものですから、そこは確たるものではございません。

矢田松夫委員 基本的なことを最後に言われたんだけど、交通協議会（仮称）

となっている。これは予算に関係するけど、法定協議会と交通協議会の二つの組織があるのを一つにするとか、どちらにするというのはまだ基本的には決まってないということですね。最終的にまとめたものをどう国に持っていくかが一番大事なところだから。ちょっとこの辺が危うくなっているんで、もう1回、仮称にした理由を言ってください。

工藤経済部次長兼商工労働課長 仮称にした理由と申しますか、法定協議会を立ち上げることは決まっておるんですけども、まだ協議会の名称は確定しておりません。ただ、本市の予算上、このたびの負担金の名称を掲げるに当たり、法定協議会負担金という出し方もできたんですけども、それだと一体どこにどんな性質で出すものなのかが分かりにくいだろうと思いましたので、若干中身が分かる仮称をこちらでつけさせていただいているということです。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、18ページ、19ページ。鉦害復旧費。

宮本政志委員 これは、すごいシビアなことなので、さっき、市内で何件って言ったか。それだけでいいです。地域とか個別に聞くと、非常に問題があると思うので市内で何か所あったか確認します。

平農林水産課長 既に行ったところが4件でございます。

藤岡修美分科会長 いいですか。ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは以上で質疑を終わります。職員入替えのため暫時休憩いたします。

---

午後3時38分 休憩

---

藤岡修美分科会長 それでは産業建設分科会を再開いたします。

平農林水産課長 先ほど御説明いたしました 6 款農林水産業費、1 項農業費、5 目土地改良事業費、1 8 節負担金、補助及び交付金、6 3 1 万 4, 0 0 0 円の増額について、こちらの説明が漏れておりましたので追加で説明をさせていただきます。こちらの財源といたしまして、地方債補正もしております。6 ページを御覧いただければと思います。6 ページに表があるかと思いますが、その中の農業施設整備事業債についても額を増やしております、補正前が 2, 8 1 0 万円であったものを 3, 0 3 0 万円に 2 2 0 万円ほど増額しております。

藤岡修美分科会長 執行部から追加の説明がございました。農業施設整備事業債の増額であります。これについて質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは質疑なしと認めます。それでは、議案第 5 6 号令和 6 年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について、審査番号 1 番、審査事業 2 7 から執行部の説明を求めます。

平農林水産課長 それでは、審査対象事業 2 7、地域計画策定推進緊急対策事業について御説明させていただきます。令和 6 年度一般会計決算審査資料 7 6 ページを御覧ください。事業概要について、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿や農地利用者を明確化した地域計画の策定に取り組むものでございます。支出につきましては、職員手当 3 3 万 4, 0 0 0 円、通信運搬費 1 1 万 2, 0 0 0 円、消耗品 4 万 8, 0 0 0 円、会場借上料 5, 0 0 0 円となっております。財源につきましては、全て県支出金となっております。活動指標として農業者等から意見を聴取する会合の開催を成果指標として地域計画の策定を掲げております。成果といたしましては、4 地区において地域の話合いを開催し、目標地図の作成に至ったことにより、市内全ての地区において地域計画

を策定することができました。よって、目標達成度をA、令和8年度に向けた方向性につきましては、本事業は令和6年度で終了となるため、完了としております。参考資料を77ページから89ページに掲載しておりますので御覧いただければと思います。説明は以上です。御審査のほどよろしくお願いいたします

藤岡修美分科会長 執行部の説明は終わりました。委員の質疑を求めます。

中島好人委員 地域計画を策定する辺りに、4か所で集まりを持ったということですけども、それぞれの参加者は何人で何回持ったんでしょうか。

伊勢農林水産課農林係長 一応開催場所、地区については資料82ページに掲載をさせていただいております。こちらの会合の実施年度の令和6年度というところが、令和6年度に開催をした地区になります。開催の参加者数になるんですけども、すいませんがこちらについては集計を今からさせていただければと思います。令和5年度、令和6年度と合わせてみますと284名の方が参加をさせていただいております。これが令和5年度、令和6年度の合計の人数になります。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

伊勢農林水産課農林係長 すみません。参加者の人数ですけども令和6年度の人数は195名になります。

中村博行委員 この地域計画を策定されたことに対して、短期間で、本当は一人といったらオーバーですけども、少数でこれだけのものをつくられたことは本当に敬意を表したいと。ただ、各地区をほとんど1回ずつの説明会だったと思うんです。だから、十分とは言い切れない。そこが、これからの一番の課題だろうと思うんです。むしろ、今後の改善策等にも書いてありますけれども、せっかくなつくた資料を今後どのように活用し

ていくかということが大きな課題だと思いますので、その辺を今後どうしていくのか、お答えを願いたいと思います。

伊勢農林水産課農林係長 この地域計画は、10年後の地域農業の在り方とその目標値を表していくものになるんですけども、先ほど委員からありましたとおり短期間で策定をしたという状況になっておりますので、現況地図をほぼ10年後の担い手の方という形で策定をしたという現実的にはそういった結果となっております。今後は、令和7年度以降、各地区に出向いていきながら見直しを図っていくというところも国の方針で示していただいておりますので、そういった形で今後引き続き、地域の方とお話をさせていただきながら、この地域計画の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

宮本政志委員 今の中村委員の質疑は非常に重要で、これ令和4年度から令和5年度、特に令和6年度の予算決算のときの議事録等をしっかり目を通して、目標達成度もAですね。意図は、集約化を進めるって書いてあるから、これは間違いなく集約が進んでいくんですね。断言できますか。

伊勢農林水産課農林係長 一応今後の地域での話合いの中でも、そういった担い手の集約といったところも会議の協議事項だと認識しておりますので、それに向けて取り組んでいきたいと思っております。

宮本政志委員 違う。僕の質疑は集約が間違いなく進んでいくんですかっていう質疑です。

平農林水産課長 今、宮本委員がおっしゃるとおり、集約化ですけども、まずその受け手となる担い手がいる地域については大丈夫だと思っておりますが、正直、その担い手がない地区もございます。そういったところについては、これは国のほうも、地域計画は1回つくって終わりじゃないですよと、どんどん更新してブラッシュアップしていくものですよと

いうふうに言っていますので、そういう受け手がない、担い手がないというような地区においては、随時、話合いを持って更新して、集約化が進むように努めてまいりたいと思っております。

宮本政志委員　今課長が答弁されたことを聞きたかった。これは令和6年度のこうこうこうで、過去から始まってこうですと。担当課としては、この令和6年度の事業完了をもって、それから先はどういう想定を持っておられるかが非常に重要になってくるんだけど、大まかでいいので、どういう想定をしてらっしゃるかを聞きたかった。

伊勢農林水産課農林係長　一応地域計画の区分けは9地区ほど分けさせていただいております。ただ、この話合いの場、会合の中身はもっと細かく地域を絞って話合いを進めていく予定にしておりますして、10年間という目標にはなっておりますけれども、まず5年間ぐらいのスパンで、ポイントを絞って、それぞれの緊急度だとか、そういった地域の実情を見ていきながら、進めていければとは考えております。

藤岡修美分科会長　よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかに。（「なし」と呼ぶ者あり）いいですか。それでは、審査番号28、有害鳥獣捕獲事業から有害鳥獣の関係事業が続きますので、28、29、30、31の有害鳥獣防護柵等設置事業までを一緒に、執行部の説明を求めたいと思います。

平農林水産課長　それでは、審査対象事業28から31は関連がありますので一括して御説明させていただきます。それでは審査対象事業28、有害鳥獣捕獲事業について説明いたします。資料90ページをお開きください。事業概要につきましては、農作物に被害を与える有害鳥獣の捕獲業務を山口県小野田地区猟友会、山口県山陽地区猟友会に委託を、毎年、継続して行っているものでございます。活動指標として、有害鳥獣捕獲の出動人員を掲げております。成果としては、有害鳥獣捕獲業務を委託

し、現地確認から捕獲及び追い払いをはじめ、わなの見回り等を行ったことにより、農作物被害の軽減が図られました。よって目標達成度はA、令和8年度に向けた方向性につきましては、成果、コストともに現状維持としております。参考資料を91ページに掲載しておりますので、御覧いただければと思います。続きまして審査対象番号29、有害鳥獣捕獲奨励事業について説明いたします。資料92ページを御覧ください。事業概要についてですが、増え続ける有害鳥獣による農作物被害防止を目的に、捕獲の奨励のため、市内において対象鳥獣を適法に捕獲し、確認資料を提出した者に対し補助金を交付する事業でございます。補助金単価につきましては、イノシシ4,000円、シカ5,000円、サル1万3,000円、ヌートリア2,000円となっております。支出につきましては、有害鳥獣捕獲奨励補助金172万2,000円の支出となっており、財源は全て一般財源でございます。成果指標につきましては、イノシシ、シカ、ヌートリアの捕獲計画数を掲げております。成果につきましては、イノシシについては、目標を下回ったものの昨年度実績以上に捕獲することができておりますが、シカ及びヌートリアにつきましては、目標、昨年度実績ともに下回っております。よって、目標達成度はC、令和8年度に向けた方向性につきましては、成果コストともに現状維持としております。参考資料を93ページに掲載しておりますので、御覧いただければと思います。続きまして、審査対象番号30、有害鳥獣対策協議会支援事業について説明いたします。資料94ページを御覧ください。事業概要についてですが、鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資するため、山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部または全部について、予算の範囲内で補助するものでございます。支出につきましては、有害鳥獣対策協議会補助金14万5,000円となっております。財源は、全て一般財源でございます。活動指標として、協議会の開催回数とICTわなの設置数を掲げております。成果といたしましては、ICT機器の設置により、わなを懸架した後の見回りが省力化されたことにより、効率的な捕獲業務が行えるようになったということで、目標達成度をA、令和8年度に向けた成果コストともに現状維持

持としております。参考資料を 95 ページに掲載しておりますので御覧いただければと思います。続きまして、審査対象事業 31、有害鳥獣防止柵等設置事業について説明いたします。資料 96 ページを御覧ください。事業概要につきましては、有害鳥獣による農作物被害が増加し、それを防止・減少させるため有害鳥獣に対する防護柵を設置した農業者に対し、資材購入費の 2 分の 1 を補助するものでございます。支出につきましては、有害鳥獣防護柵等設置事業補助金 140 万 7,000 円を支出しており、財源は全て一般財源でございます。成果指標としては、補助件数を掲げております。成果としては、農業者の防護柵等の設置費用に要する経費を支援したことにより、有害鳥獣による農作物被害の減少に寄与することができたことで、目標達成度は A、令和 8 年度に向けた方向性については成果コストともに現状維持としております。参考資料を 97 ページに掲載しておりますので御覧ください。説明は以上です。御審査のほどよろしくお願いいたします。

藤岡修美分科会長 執行部の説明が終わりました。質疑については審査事業ごとに行いたいと思います。審査事業 28、有害鳥獣捕獲事業について質疑を求めます。

宮本政志委員 91 ページの令和 6 年度で委託料は説明があったように小野田地区と山陽地区は一緒と。小野田地区と山陽地区のそれぞれ猟友会の会員数とか捕獲隊の人数書いてある下に、令和 6 年度の出動人員の合計は小野田地区が 152 人、山陽地区は 652 人とあります。これって、会員数の比率よりもはるかに山陽地区の猟友会の人員が多いのは、どのように考えておられますか。何でこれほど多いのか。

伊勢農林水産課農林係長 各地区の猟友会の活動の範囲ですけれども、特に旧山陽地区、小野田地区という区分けを被ってはいけないということはないんですけれども、主たる地区としては小野田地区と山陽地区を担っていただいて、活動をしていただいている状況です。やはり山陽地区のほ



うが山林だとか、農地についてもかなり範囲的には多いというところも  
ございます。昨年度の状況で申し上げますと、小野田地区猟友会の会長  
が交代されたという実績もございますので、そういった辺りで少し差が  
出たのかなと考えております。

宮本政志委員 そうだね。結局、多分、山陽地区のほうが多いんだろうね。  
イノシシとかそういうのも多いし、出動回数も多い。これは令和3年度  
ぐらいからしか見てなくて、令和2年度は見てないんだけど、猟友会は  
一緒になれないですか。予算をもう少し増やして、55万8,500円  
って全く同じよね。でも、人数で言ったら捕獲隊は小野田地区のほう  
が山陽地区より多いよね。でも、会員は山陽地区が多いと。さらに、山陽  
地区が出動は約4倍ですと。そうすると、先ほどの説明で、両方が区域  
によって、行けないことはないとかはないと言われたんやけど、予算面  
もあるけど、一緒にできたらもっとこれ効率よくなるかなと思うんだけ  
ど、駄目なのか。

平農林水産課長 一緒になって駄目と言うことはないんですけども、今のと  
ころは、二つの猟友会の方から一つにいうお話は聞いたことはないので、  
今のところはその予定はございません。

宮本政志委員 僕が言いたいのは、それぞれ目的があって、これはできとるわ  
けよね。恐らく、旧小野田市、旧山陽町時代から引き継いであったと思  
うんだけど、目的は一緒なんだから、効率化のために、そういう方向性  
は、担当課としてはどう考えますか。

平農林水産課長 今のところ、二つの猟友会のほうで捕獲隊を結成してい  
だいて、きちんとやっていただいているんですけども、将来的になると  
その狩猟者の数も減ってきて、なかなか難しくなるんじゃないかなとい  
うことも予想されますので、将来的にはこの二つが一つになって実施隊  
というものを今、山陽小野田市でつくっていますけども、そこに入って

いただいて、一緒にやっていただくということも、将来的には考えていく必要があるのかなとは思っております。

宮本政志委員　そうですね。あくまで令和6年度の事業結果をもとにやるようですけど、その結果を考慮して、課長からそういう答弁があったと思います。

藤岡修美分科会長　ほかに質疑はありますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは審査事業29、有害鳥獣捕獲奨励事業。

中島好人委員　事業概要を見ますと、イノシシの捕獲奨励金の単価の引上げを行ったと。これは、現在は4,000円になっていますけど、その前は幾らだったんでしょうか。

平農林水産課長　1頭当たり2,500円でございます。

宮本政志委員　目標達成度は、Cじゃなくていいと思うんだけど。あくまで数だけでというのは、もともと少し疑問がある。これまず、成果で昨年よりは多いけど目標を下回ったこと。最近、豚かなんかの病気がはやって、イノシシそのものの数が減っというものの令和6年度の本市の状況を聞きたいのですが。

伊勢農林水産課農林係長　捕獲頭数に直結するかは分かりませんが、山口県内において豚熱というのが令和5年度に確認されております。ただ本市での確認はできてはいないんですけれども、県の見解としても、そういった豚熱の影響によって、捕獲頭数が減っているのではないかと。そういった分析もされておりますので、令和5年度、一旦358頭と下がって、令和6年度は387頭となっておりますけれども、豚熱の影響で令和5年度に一旦捕獲頭数が減って、若干そういった感染の状況も落ち着いてきたのかなというところでございます。

宮本政志委員 そうそう。豚熱の影響で、イノシシの子供も当然減るので、目標は大きく置いたけど、一応捕獲は令和5年度より増えとるよね。だからあんまりこう疲弊するような目標達成かなと思って。それとシカとヌートリアは、豚熱は関係ないと思うんだけど、これは何で下回ったのか。

伊勢農林水産課農林係長 シカとヌートリアの実績ですけれども、正直、経年的な比較でなぜ下がってきたのかという分析までは至ってはおりません。けれども、近年、令和7年度についても、そういった被害報告だとかっていうところも、少し減ってきてはいるのかなという状況にあります。

中村博行委員 まずは、金額について、以前、近隣市よりも少ないんではないかということがあって上げられたっていうこともあろうかと思えますけれども、それに対して、どういう受け止めをされておりますか。

平農林水産課長 中村委員がおっしゃるとおり、以前金額を上げて、今イノシシであれば1頭4,000円にしたんですけども、それ以降、特にその駆除隊、捕獲隊から上げてほしいというようなお声は聞いたことはございません。

中村博行委員 もう一つ、今テレビ等で、困っている史上最強の農業被害になり得るということで、ナガエツルノゲイトウという植物が物すごく繁殖しておるということで取り上げられておったんですが、一方でヌートリアも動物としては、地域によっては、稲の被害が相当出ていると。稲が、育ち切る大分手前のところでは場がヌートリアによって、もう歯抜けになったという状況がテレビ等でもやっていたんですけども、市内でそういう傾向というのは、聞かれていますか。

本多農林水産課課長補佐 ヌートリアについて、実際の被害はこちらでは聞いたことは今のところはない状態です。よくあるのが干拓地の土手等に横

穴を掘って巣をつくっているというようなお話とか聞いたことがあります。

中村博行委員　それが一番の被害だと私も認識していたんですけども、もう最近のそういう報道等で実際には場の中ほどで稲が全くないというものも確認をされております。また、ヌートリアの繁殖も相当多いということも聞いていますので、今後そういうことに注視していただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

伊勢農林水産課農林係長　現場のほうも確認をさせていただきながら、しっかりと対応させていただきたいと思います。

宮本政志委員　中村委員の質疑で少し答弁が気になったけど、イノシシとかの1頭当たりのお金を増やしてくれという話は聞いていませんって、今、課長は言ったけど、それはどういう根拠なのか。全員にアンケートを取ってという根拠でということ、それとも、電話が入って来なかったってことですか。

平農林水産課長　その点を全員からお聞きしたというわけではなくて、主には猟友会とのお話の中で、そういったお話を上げてほしいとかっていうことは聞いたことがないという意味でございます。

宮本政志委員　それが、また今年もお米の関係が全国的に問題になっているよね。せっかく農家の方が作られたのが、イノシシやシカ、先ほど、中村委員が言われるようにヌートリアだって、被害があつたら、これ少しでも食いとめてあげないといけないのだったら、令和6年度の決算をもって、本当に近い将来、金額を上げたら、もう大げさに言えば倍になったら、もっと本気で捕ってくれますかくらいのアンケートを取って——皆さんは責任感でやろうとするけども、その責任感に甘えてはいけないよ。だから、その実態把握によって費用対効果で1頭当たりを上げていけば、費用対効果は見込めるんだっていうところを令和6年度で感じなかった

のかを聞いたんやけど。

平農林水産課長 先ほど申しましたように令和元年に、イノシシの1回当たりの金額を上げました。上げて、この近隣の中では高いほうになったんですけど、その後、お隣の宇部市がまた上げて、山陽小野田市よりは高い状態になっています。その辺りもありますので、猟友会のほうとお話しさせていただいて、今後についてまた考えたいと思います。

中島好人委員 先ほど、事業概要のところ、イノシシは2,500円から4,000円に上げたということ。その次に、話題になっているヌートリアについて、奨励金の対象にしているということですけど、対象にしているってということで、まだ上げてはいないですか。

伊勢農林水産課農林係長 一応令和6年度の実績は4頭ほど、ヌートリアの駆除をされたので奨励金として交付しております。

中島好人委員 いや、この価格が2,000円ってなっているけども上がった額なんですか。今後上げることを検討しているのかってということですけど。

伊勢農林水産課農林係長 申し訳ございません。今、ヌートリアは1頭当たり2,000円ということになっておりまして、近隣の宇部市も2,000円となっています。美祢市のほうも2,500円となっておりますので2,000円が適当かと思っております。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、審査対象事業30、有害鳥獣対策協議会支援事業につきまして、委員の質疑を求めます。

中村博行委員 ICT罾を設置して非常に効率的になったということだが、ど

ういものか説明できれば、教えてほしいと思います。

伊勢農林水産課農林係長 ICT罾については、箱罾を仕掛けたときに、子機を設置します。それで捕獲されたときに、扉が閉まりまして、メールで市役所なりに通知が行くという形になります。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）いいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、審査対象事業31、有害鳥獣防護柵等設置事業につきまして、委員の質疑を求めます。

宮本政志委員 これも非常に、担当課は、成果を上げておられるし、予算も効率のいい使い方をされているというのは、他の資料を見ても分かる。成果で、農作物被害を減少させることができたっていう答弁をたしか言われたと思うんだけど、どれぐらい減少できたのか。効果がどれぐらいあったか。令和6年度はどれぐらい減少したのか。

伊勢農林水産課農林係長 農作物の被害状況ですが、これが農作物共済という保険上の被害の実態になりますけれども、先ほどありました令和5年度との比較になりますと令和5年度は、先ほどありました豚熱の発生確認がありましたので、比較の対象はしがたいというところで令和4年度との比較で、27万4,000円ほど被害が少なくなったという状況になっております。

藤岡修美分科会長 いいですか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは審査対象事業32、鉱害復旧事業について執行部の説明を求めます。

平農林水産課長 では、審査対象番号32、鉱害復旧事業について説明いたします。資料の98ページを御覧ください。事業概要を申し上げます。石炭等の鉱物の掘採が原因として生じた損害のうち地表から50メートル

以内の採掘跡又は坑道跡の崩壊に起因する陥没のうち賠償義務者が不存在または資力を有しない鉱区で、経済産業省が認定した鉱区であります「無資力鉱区」で発生したものを復旧する事業でございます。支出につきましては、工事請負費 99 万 7,000 円、消耗品 9 万 9,000 円となっており、財源につきましては、工事請負費については山口県砕石協会が管理する基金、消耗品については一般財源となっております。成果指標につきましては、工事件数を掲げております。成果といたしましては、2 件の工事を実施し、早急な復旧工事発注ができており、市民の生活環境に支障が出ないよう対応できております。よって目標達成度は A、令和 8 年度に向けた方向性については、成果を拡充、コストを拡大としております。説明は以上です。御審査のほどよろしく願いいたします。

藤岡修美分科会長 執行部の説明が終わりましたので、委員の質疑を求めます。

宮本政志委員 これもさっきも言ったんやけど、財産権の侵害は、非常にシビアな問題です。市内で 2 か所ですね。もうそれでいいです。どこがどうこうとかどういうことをしたというのは、これはもう質疑できないっていうかするべきじゃないんでね。ただ、工事請負費 99 万 7,000 円で課長が説明したこれは必要なことがちゃんとできたという決算の受け止めでいいですか。

河内農林水産課耕地係長 この 2 件につきましては、浅所陥没が起きて業者に見積りを取って工事をしております。その成果としては見積りどおり、必要な土量も入っておりますので完了しております。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、決算書に移ります。160 ページ、163 ページは、防災費。委託料の災害応急工事委託料の一部が、そのうちの一部が、農林の防災。災害応急。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）。次が 268 ページ。2 目農業

総務費から。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ずっとって、3  
目の農業振興費。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）272ページ、  
273ページも、農業振興費。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）  
274ページ、275ページ、農地総務費。

恒松恵子副分科会長 18節の負担金、補助及び交付金の不用額が50万円近  
くございますけれども、不用額が発生した理由について教えてください。

本多農林水産課課長補佐 18節負担金、補助及び交付金ですが、主に余った  
原因としましては、高千帆土地改良区、後潟土地改良区の推進補助金に  
なります。光熱水費を支払わなければならないので、少しその辺を考慮  
しているため、不用額が発生しています。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかいいいす  
か。

矢田松夫委員 273ページの6次産業化・農商工連携応援事業補助金。決算  
でいくと115万9,000円。予算300万円ぐらいあったのに何で  
3分の1なのか。その理由はなんですか。

伊勢農林水産課農林係長 こちらについては、補正で事業費の補助金を減額さ  
せていただいております。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）276ページ、  
277ページ。土地改良事業費が入ってきます。

矢田松夫委員 改良区を含めたその補助金ですが、これは前回も言っただけど  
役員手当がかなり占めておるんじゃないかと思うんです。どちらにいた  
しましても、会計報告はきちっと出していただいておりますということで間  
違いないですか。



本多農林水産課課長補佐 改良区の補助金については、山陽小野田市土地改良区等事業推進補助金の要綱に基づき補助金交付を実施しております。こちらについても、農地の保全または利用するための市内の治水事業を健全な推進を図るために必要な施設である農業用水路や排水機場、樋門等の土地改良区施設を適切に維持管理する、また運営するための補助金になっておりますので、問題なく行っているというふうに認識しております。

藤岡修美分科会長 278ページ、279ページ。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）280ページ、281ページ。水産に入ってきます。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）282ページ、283ページ。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）284ページ、285ページ。商工費の上までです。

恒松恵子副分科会長 285ページの14節工事請負費ですけれども、埴生漁港の道路整備工事の進捗状況を教えてください。

山口農林水産課主査兼水産係長 埴生漁港の道路整備工事については、令和6年度に着手しておりまして、全区間ではなく、一部区間をアスファルト舗装しております。令和7年度において、令和6年度にできなかった部分について延長をアスファルト舗装していつて完成となる見込みとなっております。

恒松恵子副分科会長 あとアスファルトが残っているのみと解釈しましたが、およそ何パーセントぐらいと考えてよろしいですか。

山口農林水産課主査兼水産係長 ざっくりにはなりますが、補助事業になり、予算との兼ね合いもあります。おおよそ残り40%程度と見込んでおります。予算のつき方次第で延長・面積等も変わってくるようになると思

います。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次は360ページ。先ほど言った鉱害復旧はいいですね。（「はい」と呼ぶ者あり）362ページ、農業施設災害復旧費。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）364ページ、林業施設災害復旧費。

宮本政志委員 3, 148万6, 200円の繰越明許の説明をお願いします。

中川農林水産課農林係主任 林道福田、大持線林道施設災害復旧工事につきましては、令和5年7月の豪雨災害で被災したこの林道福田、大持線において、特殊盛土工なるいわゆるジオテキスタイルという特殊な工法、またガードレール等を設置する工事を行っております。ただ、令和5年12月からの工事開始に伴い、繰越しを行っております。

藤岡修美分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）歳出は終わりで、歳入に入ります。72ページ、73ページ、分担金。74ページ、75ページ、使用料。5目農林水産業使用料。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次が、76ページ、77ページ、総務手数料の中に農業委員会の事務局がざっくり入っているってことです。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次が、国庫負担金から82ページ、83ページ。災害復旧。農林水産業施設災害復旧。3目2節はいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）86ページ、87ページ。（「なし」と呼ぶ者あり）次が、90ページ、91ページ、負担金。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）94ページ、97ページ。県補助金。（「なし」と呼ぶ者あり）次が、100ページ、101ページ、委託金。農林水産業費委託金。（「なし」と呼ぶ者あり）次が、102ページ、103ページ、財産貸付収入。1目の市場施設を貸し付ける市場施設貸付料。不動産売払収入。（「なし」と呼ぶ者あり）106ページ、107ページ。津布田と新山野井の灌漑排水施設の繰入金。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

森林環境整備基金繰入金。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）雑入。

110ページ、次が、124ページから市債。農林水産業債。（「なし」と呼ぶ者あり）128ページ、129ページが、災害復旧債。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上で質疑を終わります。暫時休憩いたします。

---

午後4時51分 休憩

---

---

午後5時17分 再開

---

藤岡修美分科会長 それでは産業建設分科会を再開いたします。審査番号2番、審査対象事業33、高泊地区デマンド型交通運営事業について、執行部の説明を求めます。

工藤経済部次長兼商工労働課長 それでは、審査対象事業33、高泊地区デマンド型交通運営事業について御説明します。資料は99、100ページとなります。まず、99ページを御覧ください。この事業は、令和4年10月から開始しており、コミュニティバス路線である高畑・高泊循環線のうち高泊地区路線について、従来のコミュニティバス路線からデマンド型の交通手段に転換を図ったものです。高泊地区を対象にタクシー会社によるデマンド型交通を運行するもので、マイカーを自由に利用できない方の買い物、通院等、日常生活における移動手段の確保を目的として、小野田第一交通に委託して運行しています。令和4年10月から1年間の実証運行を経て、令和5年10月から本格運行に移行いたしました。具体的なサービス内容につきましては、利用者からの予約に基づき、月、水、金の週3日、一日あたり上下各7便の14便が運行しています。運行車両は、タクシー会社所有のセダン型タクシー車両を使用し、予約者数が乗車定員を上回った場合は、速やかに追加車両を運行することとしております。運賃は、1乗車300円とし、幼児や身体障害者の方等に対する割引制度や回数券等を設定しております。予約は専用受付

窓口を設け、24時間365日体制で受け付けております。対象エリアについては、以前運行していたコミュニティバス、高畑・高泊循環線の高泊地区沿線周辺とし、居住地エリアの乗り場と駅やスーパー、医療機関等、目的地エリアの乗り場を結んでいます。令和6年度の事業費につきましては、デマンド型交通運行業務委託料592万8,000円です。財源といたしましては、雑入として、タクシー事業者が受けた国からの補助金35万8,000円を市の歳入とし、残りを一般財源としています。次に令和6年度の成果指標です。当該事業における成果指標として、まずデマンド型交通運行日数は、目標値の143日に対して実績値は141日であり、達成率が98.6%、一日当たり乗車人数は、目標値の6人に対して実績値は6.4人であり、達成率が106.67%、一日当たり稼働率は、目標値の30%に対して実績値は30%であり、達成率が100%となっています。実績値については、前年度との比較においてほぼ横ばいで推移しており、一定の利用が見込める状況であることから、目標達成度をBとしております。課題及び改善策についてですが、事業実施における課題としましては、一定の利用が見込める状況にはあるものの、利用者数は伸び悩んでおり、しっかり事業周知を行うことで、対象区域にお住まいの方にデマンド型交通を知っていただき、新規利用者の開拓に努めることで改善が図れればと考えているところです。あわせて、特に利用が見込まれる高齢者の方、こちらに寄り添った活動をされている、民生委員やケアマネジャー等に対する説明会も実施しており、さらなる周知の強化に努めてまいります。また、地域住民や既存利用者のニーズの把握にも努め、今後も利用しやすいダイヤ設定等により利用促進を図ってまいります。以上で説明を終わります。御審査のほどよろしく願いいたします。

藤岡修美分科会長 執行部の説明が終わりましたので、委員の質疑を求めます。

中島好人委員 基本的にこれは予約制になるわけですね。例えば、100ページの表で見ますと、12時の便に乗ると予約して、帰りには13時1

5分の便に乗りますという形ですね。だから、利用者が自分に合った時間に乗れるという方向で検討はないのか。行きはともかく、早く用事が済んで早く帰りたいから一つ前の便に乗ろうという融通は利きますか。

中村商工労働課課長補佐 まず、予約については、それぞれの便の30分前までに予約の電話をしていただく形になっております。行きの便で買物とか医療機関とかの用事を済ませて帰って来られるということで、帰りの便も別途予約していただくという必要がございます。

宮本政志委員 運行日数が2日ほど実績少ないよね。これは予約がなかったってことですか。

中村商工労働課課長補佐 おっしゃるとおりです。予約がなかった日は運行がないということでございます。

宮本政志委員 予約がなかった2日は、例えば天候が最悪だったなど、何か理由を把握しておられますか。

中村商工労働課課長補佐 理由までは把握はできておりません。

宮本政志委員 その辺りはしっかり把握しないといけんよね。それと、利用者数の伸びが悪い、伸び悩みだから広報活動云々、先ほど民生委員の方に周知を図っていただくとかに結びついたんかな。

中村商工労働課課長補佐 お示しのとおり、運行開始からなかなか利用者数伸びていないというところもありましたので、先ほど工藤次長から説明がありましたとおり、利用者だけではなくて、高齢者に寄り添う方々に積極的にアプローチをして、より知っていただく機会を増やしていきたいというところにつながっております。

宮本政志委員　ということは、令和６年度を通じて、周知を図れば伸び悩みが解決できるという判断したということね。

中村商工労働課課長補佐　もう一つ、運行開始から３年近くたちますので、時間によっての利用されている人数、行きの乗降場所、帰りの乗降場所、それぞれの件数も大分蓄積しております。そういったところのデータも踏まえて、今後は利用者の方がより利用しやすい時間帯、場所など、地元の見解も聞きながら改善の必要があろうと認識しております。

中村博行委員　事業者との契約について聞きます。一部のデマンドでしたか、赤字が出た分だけ補填していくというシステムを取られた事業があったと思うんです。高泊地区のデマンドについての契約は、そういうものではないということでしょうか。

工藤経済部次長兼商工労働課長　デマンド型交通については、この審査事業を含めて３地区で運行していますが、いずれも入札によりまして委託事業としております。そのため、考え方としては赤字補填という形は取っておりません。運行委託となっております。

藤岡修美分科会長　よろしいですか。ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、審査対象事業３４、商店街等活性化事業について審査を行います。執行部の説明を求めます。

工藤経済部次長兼商工労働課長　それでは、商店街等活性化事業について御説明します。資料は１０１、１０２ページです。１か所、資料の訂正があります。１０２ページの一番下の表中、令和６年度の交付件数８件は誤りで、正しくは７件です。おわびして訂正いたします。なお、決算額４３９万円については間違いございません。それでは、事業の説明をいたします。この事業は、商店街等の活性化を図るため、商店街における共同施設の整備やイベントの開催に対して補助金を交付するものです。事

業内容について御説明します。一つ目は、商店街共同施設設置補助金の交付です。これは、商店街における共同施設の新設・増設・移転に関する工事費の一部を補助するものです。対象となる共同施設は、街路灯やアーケード、駐車場等で、補助率は、施設ごとに50%又は80%と定めています。令和6年度は、小野田駅前中通りガス灯管理委員会へガス灯の修繕に対する補助を行い、決算額は9万6,096円でした。二つ目は、商業振興諸行事補助金の交付です。これは、商業振興を目的とするイベントに係る費用の一部を補助するもので、補助対象事業は資料に記載している8イベントです。令和6年度については、補助対象事業中、事業を休止されている「ちょうちん七夕フェスティバル」を除く7イベントに対し補助金を交付しており、決算額は合計で439万円となりました。説明は以上です。御審査のほどよろしくお願いいたします。

藤岡修美分科会長 執行部の説明が終わりました。委員の質疑を求めます。

中島好人委員 102ページで、補助対象事業が七つ挙げられていますね。令和5年度は五つですから、比べますと二つ増えているわけです。新しく増えたものについて説明をお願いします。

中村商工労働課主幹 令和5年度との二つのイベントの差ということなんですけれども、一つは令和6年度に新たに、おのだクリスマス花火が始まったということでございます。もう一つは令和5年度に小野田駅前ふれあいまつりを通常開催されていらっしゃるんですけども、そちらのイベントについては市の補助金ではなく別の補助金を活用され、市の補助金をたまたま交付していないということでございますので、2件の差が出ております。

恒松恵子副分科会長 商店街共同施設設置補助金ですが、商店街の解釈について、法人格を持っていないといけないのか、任意団体でないといけないのか、市内に法人格を持った商店街組合というのは一つだと思うんです

けれども、この解釈について、いかがでしょうか。

中村商工労働課主幹　こちらは要綱をつくっております、商店街団体という定義の中に、商店街に商店を有する者による商店経営のための連合体又はこれに類する団体と定義しておりますので、特段、法人格がないと駄目だという定義はしておりません。実際、ガス灯管理委員会に出させていただいておりますので、それは実態に応じて適宜判断しておると考えております。

藤岡修美分科会長　ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、決算書に移ります。２６２ページ、労働諸費。２６４、２６５ページ。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）２６６、２６７ページの農林水産業費の上まで。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）２８４ページ。商工総務費と商工振興費。デマンド交通もいいですか。質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは歳入、７４、７５ページ、４目労働使用料。いいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）６目商工使用料、いいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）次が、手数料７８、７９ページ、５目商工手数料の申請手数料。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）９８、９９ページ、５目商工費県補助金。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）１０２、１０３ページ。２目利子及び配当金。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）１０６、１０７ページ。繰入金はいいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）１１０、１１１ページ。貸付金元利収入。２目と３目。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）労働債１２４、１２５ページ。あと１１８、１１９ページの雑入。（「なし」と呼ぶ者あり）１２０、１２１ページの商工費雑入。（「なし」と呼ぶ者あり）次は市債。１２４、１２５ページの３目労働債。（「なし」と呼ぶ者あり）１２６、１２７ページの５目商工債。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で、質疑を終わります。暫時休憩いたします。



---

午後 5 時 1 7 分 休憩

---

---

午後 5 時 1 9 分 再開

---

藤岡修美分科会長 産業建設分科会を再開いたします。本日の審査は終わります。散会といたします。

---

午後 5 時 2 0 分 散会

---

令和 7 年（2025 年）8 月 2 7 日

一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会長 藤 岡 修 美